



理科室のおじさんの活動・助川小



はっけん たび ふしぎ発見の旅 2014年7月号



子どもの「ふしぎ発見の旅」出発！

7月号の壁新聞のタイトル

～地球にやさしい科学の心を育み、科学の芽を育てるために～

助川小学校では、理科室のおじさん(関 幸一)を活用して、標記の事業を展開しています。ねらいは、子どもたちの持つ素朴な疑問を、「理科室のおじさん」と一緒に解いていくことです。授業ではあまり触れられないが興味のある事からの「ふしぎ＝なぜ(疑問)」を通して、子どもたちの科学に対する興味・関心を広げ、地球にやさしい科学の心を育み、科学の芽を育てることを、学校の教育活動の一つとして展開しています。

その内容の一端を紹介したいと思います。現在までに実施したのは、

☆ 子どもたちがふしぎ(疑問)と思う事柄を集めたファイル(理科室のおじさん作成):「**小学生 210の疑問**」を図書室に配置して自由に閲覧できるようにしたこと。

☆ 「小学生 210の疑問」の活用を図るため、毎月、5～6件のふしぎ(疑問)を載せた**壁新聞**を掲示したり、お昼の校内放送を活用して全校児童に伝えたりしたこと。

☆ 理科室の入り口に「**ふしぎ発見箱** (家庭用干ボックス)」を設置し、子どもたちの感想や、アンケートを収集したこと。

です。アンケートは、5月は6年、6月は5年、7月は4年に実施しました。児童たちの反応は、予想を上回る内容で、理科室のおじさん(関 幸一)は、うれしい悲鳴(多くの疑問に対しての答えを用意するため)をあげています。7月の壁新聞に載せた主な疑問は、

- ◎ 南極と北極では、どちらが寒いのかな？
- ◎ 38℃の日は暑いのに、38℃のお風呂に入っても熱くないのは、なぜだろう？
- ◎ 夜空にあがる花火の色や形は、どのようにして作るのだろう？ (ほか3つの疑問)

です。すでに4年生の多くの児童から、アンケートの回答があり、疑問も多く出ています。

6月に実施した5年生のアンケートから、素朴な疑問を紹介します。

- ★ なぜ、力は血をすうのか
- ★ どうやって、エンピツは作られたのか
- ★ 水の中に入ったら、なぜ息ができないのか
- ★ 油はなぜ火をつけると燃えるのか
- ★ 宇宙はどこまで続くのか
- ★ 星はどうして遠いのか

(疑問の数は全部で53件)

※ 「知りたいふしぎ」の疑問ををジャンルにまとめて、児童たちに解答しています。

